

福祉人材確保対策検討会 御中

2014年7月1日
株式会社リクルートキャリア 門野友彦

福祉人材確保についての私見

■前提としている3つの考え

①福祉人材確保には「入りを増やす」「出を減らす」という2つのアプローチがありますが、検討会が優先して議論すべきは「入りを増やす」方です。「出を減らす」については、目の前に従業員がいるのだから、経営者が責任を持って対処すべきです。例えば、離職理由のTOP3「結婚、出産、育児」「法人・事業所の理念や運営の在り方に不満があった」「職場の人間関係に問題があった」は、経営手腕によって改善できる項目です。

②「入りを増やす」には、「求職者を増やす」「求人側の採用力(=経営力)のUP」の2つのアプローチがありますが、優先すべきは「求人側の採用力(=経営力)のUP」の方です。例えば、国を挙げて福祉の仕事のポジティブキャンペーンを行ったとします。興味を持った人々が求人側に接触を持つと思いますが、今のままではキャンペーンイメージと現実の事業者を見た時のギャップで、更に福祉離れを引き起こす可能性が非常に高いです。検討会が直接アプローチできる求人側に対して、採用力(=経営力)の向上を要求すべきです。※採用力=経営力とは採用が上手くいっている経営者が口を揃えて話すフレーズです。

③福祉業界のイメージやブランドが悪いのは、誰のせいでもなく、「福祉業界に携わっている自分達、経営者や従業員一人一人が日々の行動や言動で創り上げたものである」という自覚を、全員で認識することから始めなければ何も変わりません。イメージを変えるには、国や業界団体、求職者に期待するのではなく、自分達、特に経営者が意識を変える事が重要です。

■求人事業者の採用力(=経営力)向上策

第1回検討会に提出した「他業界が当たり前に行っている採用活動を行う」「一般学生も採用対象に加える」「地域で連携してビジョンを描く」という3点に加え、以下の4点を求人事業者が解決すべき課題として提案します。

① 経営者の若返りを促進

新聞の見出しをイメージして下さい。

「福祉業界の経営陣の若返りが一気に加速 高齢化社会を見据え経営改革推進へ」

「福祉業界の経営者40歳以下が50%に拡大」

変革のイメージを与えるには経営陣を若手に変えるのが一番早いです。若い人を採りたいなら若手を前面に、若い経営者のもとには人が集まる、というのが採用の原理原則です。業界団体の役員も若返りすべきです。

② IT化の推進

新聞の見出しをイメージして下さい。

「福祉業界IT化を加速 サービス品質と職員満足の向上を両立」

「厚労省 福祉業界に毎年事業収入の5%をIT投資義務化」

「厚労省 1年以内に介護職全員にタブレット支給義務化」

IT化で仕事の質が良くなりそうな気がします。働きやすい環境に変化しようとする所には人が集まります。IT化を推進することで、業務効率が改善され、コミュニケーションが活性化し、定着戦力化にもつながります。①と関連しますが、スマホやタブレットでSNS(Twitter、Facebook、LINE等)等を普通に使いこなせる経営者に進化して頂きたいです。

③ 従業員全員に名刺を配布

多くの現場職員は名刺を持っていません。新入職員が学生時代の同窓会に行ったシーンをイメージして下さい。友人に「今どんな仕事しているの？名刺頂戴」と言われたときに、「私介護職だから名刺ないんだ。ごめんね」としかいえない状況を。経営者は誇りをもって仕事に取り組むよういつつ、誇りを持たない状況、他業界と比べて自分の仕事を卑下する状況を作っています。現場職員はご利用者やご家族一人一人に向き合っているのに名刺を持っていないのです。これは間違った効率化です。現場職員に名刺を持たせ、出会う人全員に胸を張って自己紹介できる状態をつくるのが、ブランド形成にも採用力向上にもつながります。

④ 介護福祉士を持っていない人は非正規社員という価値観を変える

これは地方に行くほど根強い価値観ですが、介護福祉士を採るまでは非正規社員として雇用する所が多いです。四大卒でも介護福祉士がない場合は短大卒の初任給という法人もあります。このような古い価値観を持っているは、一般の学生や社会人の参入を促進できません。勤務時間や役割によって正規・非正規を分け、介護福祉士を取れば資格手当が加算されるという、他業界では当たり前の人事制度を業界全体で導入すべきです。求職者が集まらないのではなく、自ら受け入れないようにしている事に気付くべきです。

業界全体の今のイメージを変えるには、今まで正しいと思ってやっていたことを、求職者目線で見直し改善することが重要です。それにはまず経営者全員が価値観を変えるしかありません。日本の未来の為に、若手(20代)の考えを経営に取り入れ、一致団結して変革に取り組んで頂きたいです。

■介護福祉士の資格取得方法の改正について

「入りを増やす」ことを目的とするなら改正には**反対**です。この10年間は保留にすべきです。専門性が高くなると人が集まるというのは幻想です。介護福祉士取得までの入口は低くして、可能性のある人を出来るだけ多く受け入れ育てる事が、今の日本にとって重要ではないでしょうか？

最後に、

第1～3回を欠席して申し訳ございません。第4回は参加しますのでよろしくお願い致します。